



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 クボテック株式会社  
 コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	186	56.7	70		72		73	
2020年3月期第1四半期	430	4.4	39		43		44	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 77百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 69百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.37	
2020年3月期第1四半期	3.21	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	2,591	1,143	44.1	83.09
2020年3月期	2,799	1,221	43.6	88.69

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,143百万円 2020年3月期 1,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	300	75.9	345		350		355		25.78
通期	1,100	41.5	290		300		310		22.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付書類7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	13,830,000 株	2020年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	62,159 株	2020年3月期	62,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	13,767,841 株	2020年3月期1Q	13,767,841 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	9
(継続企業の前提に関する重要事象等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞し、先行き不透明な状況で推移しました。フラットパネルディスプレイ (FPD) の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資が低調となり、厳しい受注環境が続きました。

このような環境の中、当社グループでは、品質や採算を重視しつつ、受注の確保に注力してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症による営業活動の制限や投資需要の低迷などにより、大幅な減収となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高186百万円（前年同四半期比56.7%減）、営業損失70百万円（前年同四半期は営業損失39百万円）、経常損失72百万円（前年同四半期は経常損失43百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は73百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上が大幅に減少しました。この結果、売上高は64百万円（前年同四半期比76.9%減）、セグメント損失は61百万円（前年同四半期はセグメント損失22百万円）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト等の売上が伸び悩みました。この結果、売上高は102百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント損失は3百万円（前年同四半期はセグメント損失33百万円）となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が減少しました。この結果、売上高は18百万円（前年同四半期比63.9%減）、セグメント損失は5百万円（前年同四半期はセグメント利益1百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ207百万円減少しました。流動資産は現金預金の減少138百万円、売上債権の減少83百万円などにより、215百万円減少しました。固定資産はほぼ変動がありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べ130百万円減少しました。流動負債は仕入債務の減少13百万円、短期借入金の減少25百万円、主として未払消費税等の減少によるその他流動負債の減少39百万円などにより、84百万円減少しました。固定負債は長期借入金の減少37百万円などにより、46百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円の計上などにより、純資産合計が77百万円減少しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが依然不透明であることから、現時点においても合理的な算定は困難な状況であり、2020年5月15日発表の連結業績予想を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,875,636	1,737,120
受取手形及び売掛金	499,373	409,109
電子記録債権	60,429	67,141
商品及び製品	12,484	7,208
仕掛品	105,452	110,082
原材料及び貯蔵品	40,812	41,043
その他	16,049	22,654
貸倒引当金	△24,403	△24,098
流動資産合計	2,585,833	2,370,262
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	7,962	7,013
有形固定資産合計	7,962	7,013
無形固定資産		
ソフトウェア	179,815	187,498
その他	0	0
無形固定資産合計	179,815	187,498
投資その他の資産		
繰延税金資産	705	665
その他	25,524	26,703
貸倒引当金	△196	△196
投資その他の資産合計	26,034	27,172
固定資産合計	213,811	221,684
資産合計	2,799,645	2,591,947
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,619	17,596
短期借入金	579,424	554,424
未払法人税等	6,407	2,239
賞与引当金	3,840	991
その他	381,435	342,226
流動負債合計	1,001,726	917,478
固定負債		
長期借入金	522,440	485,440
繰延税金負債	2,274	2,048
退職給付に係る負債	46,776	38,399
その他	5,295	4,658
固定負債合計	576,786	530,546
負債合計	1,578,512	1,448,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△677,722	△751,703
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,192,310	1,118,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	524
為替換算調整勘定	28,822	25,069
その他の包括利益累計額合計	28,822	25,594
純資産合計	1,221,133	1,143,923
負債純資産合計	2,799,645	2,591,947

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	430,719	186,406
売上原価	258,717	109,231
売上総利益	172,002	77,174
販売費及び一般管理費	211,420	147,696
営業損失(△)	△39,418	△70,521
営業外収益		
受取利息	82	58
受取配当金	83	131
その他	118	3
営業外収益合計	283	192
営業外費用		
支払利息	2,934	1,998
為替差損	1,084	458
その他	3	-
営業外費用合計	4,022	2,457
経常損失(△)	△43,156	△72,785
税金等調整前四半期純損失(△)	△43,156	△72,785
法人税等	969	1,195
四半期純損失(△)	△44,126	△73,981
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,126	△73,981

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△44,126	△73,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△422	524
為替換算調整勘定	△24,834	△3,753
その他の包括利益合計	△25,256	△3,228
四半期包括利益	△69,383	△77,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,383	△77,210
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症(以下、「本感染症」という。)に伴う当社グループへの直接的な影響は、主に本感染症による外出自粛等に伴う当社グループの営業活動の制限や取引先の投資需要の低迷などによる売上減少であります。一方で、本感染症が一般的な経済活動や事業環境に及ぼす影響は、広範かつ多岐にわたると考えられ、また、その今後の広がり方や収束時期等を含め、当社グループへの影響を将来にわたって定量的に予想することは極めて困難であります。

したがって、当社グループは、2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するものとの仮定を前提とし、当社グループが現時点で把握できる最新の情報等を踏まえて、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の収束時期等の変動によって、当社グループの財政状態並びに経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	279,701	98,791	52,226	430,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,994	—	4,500	43,494
計	318,695	98,791	56,726	474,214
セグメント利益又は損失(△)	△22,666	△33,362	1,929	△54,098

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△54,098
セグメント間取引消去	1,293
内部利益の調整額	△3,850
貸倒引当金の調整額	17,238
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△39,418

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	64,619	102,950	18,836	186,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,948	—	4,500	50,448
計	110,568	102,950	23,336	236,855
セグメント損失(△)	△61,751	△3,634	△5,669	△71,055

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△71,055
セグメント間取引消去	1,292
内部利益の調整額	2,522
貸倒引当金の調整額	△3,281
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△70,521

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

### 3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続して営業損失を計上し、また受注残高が著しく減少しておりました。特定の市場・顧客の設備投資及び特定の顧客からの受注動向によって、業績の変動が避けられず継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりました。当第1四半期連結累計期間においても営業損失を計上し、厳しい受注環境が続いていることから、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当該事象等を解消するため事業構造の改革に取り組んでおり、重要な資金繰り懸念もないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当該事象等を解消するための具体的な施策は、次のとおりであります。

画像処理外観検査装置においては、特定の市場や顧客の設備投資動向、受注に依存するこれまでの状況から、機能性フィルムや次世代パネル検査装置などの品質や採算を重視した市場、製品を収益の柱とする事業への転換を進めております。

3Dソリューションシステムにおいては、当社エンジンを採用した3次元比較検証ソフトウェアなど新製品や、メディアネット機器では、市場ニーズの高い放送局向けなどにHEVCを採用した映像伝送装置の販売拡大に注力しています。

生産に関しては工場を統廃合し業務の効率化を図り、また人件費など固定費を削減することで、財務体質の強化を進めております。

さらに新規事業として次世代フライホイールを用いた大出力発電装置やオーディオ事業の早期事業化を推進してまいります。